

市民ワークショップ（地域別意見交換会）第2回 開催結果

市民ワークショップ（地域別意見交換会）開催日程	1
市民ワークショップ（地域別意見交換会）第2回 参加者数	2
市民ワークショップ（地域別意見交換会）第2回 意見のまとめ	
【A 川内・応神】	
川内	3
応神	5
キャッチフレーズ等について	6
【B 国府・不動・北井上・南井上】	
国府	7
不動	9
北井上	10
南井上	11
キャッチフレーズ等について	12
【C 入田・上八万】	
入田	14
上八万	16
キャッチフレーズ等について	17
【D 多家良】	
多家良	18
キャッチフレーズ等について	20
【E 昭和・津田】	
昭和	21
津田	23
キャッチフレーズ等について	25
【F 渭北・渭東・沖洲】	
渭北	26
渭東	27
沖洲	28
キャッチフレーズ等について	29
【G 佐古・加茂・加茂名】	
佐古	30
加茂	33
加茂名	34
キャッチフレーズ等について	35
【H 内町・新町・東富田・西富田】	
内町	36
新町	37
東富田	38
西富田	39
キャッチフレーズ等について	40
【I 八万・勝占】	
八万	41
勝占	42
キャッチフレーズ等について	43
参考資料	44

市民ワークショップ（地域別意見交換会） 開催日程

該当地域		日時		場所
		第1回	第2回	
A	川内・応神	令和3年11月14日（日）	令和4年1月23日（日）	川内公民館
		10時00分から	10時00分 書面開催	
B	国府・不動・北井上・南井上	令和3年11月12日（金）	令和4年2月4日（金）	南井上 コミュニティセンター
		18時30分から	18時30分 書面開催	
C	入田・上八万	令和3年11月19日（金）	令和4年2月18日（金）	一宮 コミュニティセンター
		19時00分から	19時00分 書面開催	
D	多家良	令和3年11月6日（土）	令和4年1月29日（土）	多家良中央 コミュニティセンター
		10時00分から	10時00分 書面開催	
E	昭和・津田	令和3年10月31日（日）	令和4年2月13日（日）	津田 コミュニティセンター
		10時00分から	10時00分 書面開催	
F	渭北・渭東・沖洲	令和3年10月26日（火）	令和4年1月19日（水）	沖洲 コミュニティセンター
		19時00分から	19時00分から	
G	佐古・加茂・加茂名	令和3年11月26日（金）	令和4年2月15日（火）	加茂 コミュニティセンター
		19時00分から	19時00分 書面開催	
H	内町・新町・東富田・西富田	令和3年10月29日（金）	令和4年1月21日（金）	徳島市役所
		19時00分から	19時00分から	
I	八万・勝占	令和3年11月22日（月）	令和4年2月7日（月）	八万中央 コミュニティセンター
		19時00分から	19時00分 書面開催	

第2回の開催日程のうち、

- ・令和4年1月19日（水） F 渭北・渭東・沖洲地域
- ・令和4年1月21日（金） H 内町・新町・東富田・西富田地域

については、対面で開催した。

それ以降の残り7地域は、新型コロナウイルス感染症のまん延により、安全・安心な開催が困難であると判断し、第1回市民ワークショップ（地域別意見交換会）の参加者に対し、第1回の開催結果を書面にて報告するとともに、意見募集による書面開催とした。なお、意見募集の期間（開催期間）は、意見募集シートの返送が最後に確認された3月10日までとした。

- ※参考資料
- ・対面開催中止及び意見募集に関する通知（P44）
 - ・意見募集シート（P46）
 - ・徳島市都市計画マスタープラン策定に向けた市民ワークショップ（地域別意見交換会）第2回（当日配布予定のパワーポイント資料）（P47）

市民ワークショップ（地域別意見交換会）第2回 参加者数

形式	開催日	地域	地区名	参加者数	性別		年代					
					男	女	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
対 面 開 催	1/19 (水)	F	渭北	4	4	0			1	3		
			渭東	4	4	0			1	2	1	
			沖洲	4	4	0			1	3		
			計	12	12	0	0	0	1	5	5	1
	1/21 (金)	H	内町	5	2	3			3	1	1	
			新町	4	4	0	1	1			2	
			東富田	1	1	0		1				
			西富田	7	6	1			3	1	3	
			計	17	13	4	1	2	6	2	6	0

形式	当初開催 予定日	地域	地区名	第1回 参加者数	性別		書面開催 参加者数	意見提出 者数	
					男	女			
書 面 開 催	1/23 (日)	A	川内	17	15	2	17	15	
			応神	5	3	2	5		
			計	22	18	4	22		
	2/4 (金)	B	国府	8	8	0	8	18	
			不動	4	4	0	4		
			北井上	4	3	1	4		
			南井上	5	4	1	5		
			計	21	19	2	21		
	2/18 (金)	C	入田	6	5	1	6	16	
			上八万	19	13	6	19		
			計	25	18	7	25		
	1/29 (土)	D	多家良	19	15	4	19	9	
			計	19	15	4	19		
	2/13 (日)	E	昭和	8	7	1	8	15	
			津田	11	8	3	11		
			計	19	15	4	19		
2/15 (火)	G	佐古	7	5	2	7	15		
		加茂	6	5	1	6			
		加茂名	5	5	0	5			
		計	18	15	3	18			
2/7 (月)	I	八万	11	5	6	11	12		
		勝占	8	5	3	8			
		計	19	10	9	19			
合 計				143	135	37	143	100	意見提出率
									69.93%

新型コロナウイルス感染症のまん延により、安全・安心な開催が困難であると判断し、令和4年1月23日（日）開催分から対面での開催を中止し、書面開催とした。

令和4年1月28日（金）に、書面開催地区の第1回参加者全員に個別に資料送付。
（返送期限 2/14）

↓
令和4年3月10日（木）までの到着分について集計。

A 川内・応神地域

(1) 川内地区

【地域のまちづくりの方向性(案)】

- 生活利便性の向上と居住環境の充実
 - ・身近な商業機能の充実
 - ・円滑な交通を促すための道路網や公共交通の整備
 - ・農業環境の保全
 - ・子育てしやすい環境づくり
 - ・空き家、遊休地の有効活用
 - ・生活排水等の環境対策
- 水と緑を活かした、歩いて楽しいまちづくり
 - ・小松海岸を核とした海辺のにぎわい拠点づくり
- 地域資源を活かしたにぎわいづくり
 - ・歴史文化資源の活用
 - ・農業を活かした交流活動の促進
 - ・次世代に向けた周辺3町(松茂町、北島町、藍住町)との連携
- 協働による地域コミュニティ活動の活性化
 - ・若者と高齢者が交流・連携する仕組みづくり
 - ・若い世代が参加したくなる仕組みづくり
 - ・地区外の多様な組織、団体、人との交流
- 浸水リスクの軽減、防災まちづくり
 - ・河川改修等の浸水対策
 - ・避難体制の強化などによる逃げ遅れの防止

1 地域のまちづくりの方向性(案)に対する追加、修正等の意見

- ・広域交通の利便性を生かし、賑い、人が集まる商業施設
- ・空き家を生かした都会からの移動の促進
- ・水と緑を活かした小松海岸、吉野川を核とした、海辺、川辺のにぎわい
- ・「小松海岸を核とした海辺のにぎわい拠点づくり」につながる整備として、小松海岸沿いのサイクリング道の整備（現在は自動車道工事のため一部使用できない状態）近年の、健康志向にもつながる
- ・「小松海岸を核とした海辺のにぎわい拠点づくり」については、近々、南海地震が起こるといわれているので考え直したほうがいいのか？
- ・地域資源を活かした次世代に向けた市北部（吉野川南岸～眉山）や周辺3町（松茂、北島、藍住）との連携
- ・各地域に多くある歴史的な文化財や施設などについて、全ての世代で学び将来も維持していくという視点も必要

2 地域のまちづくりを進めるための役割（協働のまちづくり）に対する意見

役割 分担	市民	参加
	事業者	大型「道の駅」的なものが川内のどこかにほしい。そのために企画、実施→子育てや町の活性化につながると思われる
	行政	後押し
役割 分担	市民	よい釣り場だとの宣伝
	事業者	小松海岸を埋め立てて、芋の農場作り、芋と大根の売り場作り等
	行政	海岸、河岸の整備（沖洲、津田のように）釣りができるようにする。人が集まる方策を考えてほしい
役割 分担	市民	地区内市民の協働（生活、運動、まつり、大学）助け合い
	事業者	地域との連携
	行政	他域の紹介（各地区の特色ある動き etc）、ボランティア等の動きの紹介
役割 分担	市民	市民と行政の交流と連携を密にすると良い
	事業者	—
	行政	—
役割 分担	市民	施設用地への協力、地場産品を安値で出荷
	事業者	イベントを数多く考える
	行政	「道の駅」の整備
役割 分担	市民	まちづくりの主体であると思うので、地域のイベントや町内の活動に参加する
	事業者	それぞれの事業者の特性を生かした取組（環境美化や活動場所の提供等）をする
	行政	まちづくり活動の機会づくりやそのための広報活動を行う

3 その他、意見

- ・バス路線の新設・・・吉野川—上別宮—鈴江—鶴島—小松海岸
このバス路線を作れば、上別宮、小松、旭野、下別宮地域のバス停なしも解消される。そのためには川と海の活用を考え、各停留所ごとに釣り場を整備、駐車場も整備して人を呼び込む。河岸には安心して釣れる場所がない。今は荒れ放題になっている
- ・バスが通っていない場所への交通手段を考えて欲しい
- ・阿波しらさぎ大橋から続く県道沿いに「道の駅」を整備、「産直」を作れば地域産品の消費につながる
- ・地域の特産品の売り出し、地域資源の売り出し。また、これらの広報が必要

(2) 応神地区

【地域のまちづくりの方向性(案)】

- 地域資源を活かしたにぎわいづくり
 - ・歴史文化資源の活用
 - ・農業の活性化
- 生活利便性の向上
 - ・吉成駅前の駐輪場、駐車場の整備
 - ・大規模小売店の誘致
- 既存の交通ネットワークを活かした公共交通の整備
 - ・地域需要に応じたコミュニティバスの整備と周知
 - ・高齢者の移動を容易にする次世代モビリティに応じた環境整備
- 水と緑を活かした観光・交流空間の充実
 - ・水辺を活かした交流空間形成
 - ・水辺の歩行者空間のネットワーク化
 - ・水辺のにぎわい拠点づくり
- 協働による地域コミュニティ活動の活性化
 - ・子どもの見守り活動の推進
 - ・地域住民の間での交流促進
 - ・公園や広場の充実

1 地域のまちづくりの方向性(案)に対する追加、修正等の意見

- ・豊かな水、河川や地下水と洪水、津波の水ではまったく異なる。今のままではどっちかわからない。そのあたりの判断のできる言葉を入れてほしい
- ・協働による地域コミュニティ活動の活性化。地域住民の間での交流促進

2 地域のまちづくりを進めるための役割(協働のまちづくり)に対する意見

役割 分担	市民	具体的活用を考え実施すること。町内会も少しずつ変化している。動かなくなっている
	事業者	町内への協力も減ってきている。地元の活動を支えることが少なくなった コミュニティでも参加者が減少
	行政	市全体のビジョン、その中での各地区のビジョンを明確にすることがうるのかもかもしれない
役割 分担	市民	自分たちの町の良さを改めて考えて、町をよくする為に次の世代への使命感をもってほしい
	事業者	ハイテクランド等があるが別世界になっているので、町民へも行事等の参加を呼びかけ参加してほしい
	行政	休耕田が多いので、町民が集える大きな公園を作って高齢者から子どもまで楽しめる場所を提供してほしい。それによって吉野川の美しさを感じる機会をつくってほしい
役割 分担	市民	子どもへの声掛けや不審事案等を、地区役員、学校、警察へ報告しやすい環境づくり
	事業者	地区内のイベントへの積極的参加を要請する
	行政	地区コミュニティ活動への支援を行う。地域内の各種団体の情報交換を行う定期的会議の開催等

3 その他、意見

- 1回目市民ワークショップ参加者は分かると思うが、参加者以外は分かりにくいのではないか
- 応神町は東西に長く町が半分に分かれ、西の方は昔からの住民が多く、東の方は新しい住民が多いためなかなか連携がとれていない
- 交通の便が悪い。ふれあい健康館等に行こうと思わない。新ホールについても、市の中心に住む人にとっては良いが、川内・応神地区では利用出来ない
- 吉成駅の近くにバス停が必要と思う

地区不明

A	役割 分担	市民	町内会活動への積極的参加
		事業者	各団体活動への理解と協力
		行政	地区に合った的確な情報提供
	意見	世代間の交流の場作り 既存の組織の見直しと統廃合	

【A 川内・応神地域】のキャッチフレーズ等について

【現行プランの将来像】広域交通と水と緑を活かしたまちづくり

【説明】吉野川をはじめとする水辺環境や優良農地との調和を図りつつ、既存の広域幹線道路や整備が進む四国横断自動車道、徳島東環状線等の広域交通の利便性を活かして、業務系都市機能の拠点性を維持・強化し、都市活力の維持・向上を担う活力ある地域を目指します。

【将来像等に対する意見】

地区名	将来像及び説明で使用しているキーワード等に対する意見	
川内	残したい	<ul style="list-style-type: none"> • 「広域交通と水と緑を活かしたまちづくり」大変いいキャッチフレーズだと思う • 吉野川、十郎兵衛屋敷
	入れたい	<ul style="list-style-type: none"> • 釣り場の整備、バスの新路線 • 皆で暮せる町
	変えた方がよい	<ul style="list-style-type: none"> • 循環バスでは時間がかかりすぎて人を呼ぶことにはつながらない
	その他	<ul style="list-style-type: none"> • 停留所は地域の人利用だけでなく、市内から各停留所に来て何が出来るかが大切である（発想の転換が必要） • 提案された意見が活かされていて、よいと思う
応神	残したい	—
	入れたい	<ul style="list-style-type: none"> • 学園都市
	変えた方がよい	<ul style="list-style-type: none"> • 広域交通は、意図が分かりにくい
	その他	<ul style="list-style-type: none"> • 徳島市全体の基本プランが欲しい

B 国府・不動・北井上・南井上地域

(1) 国府地区

【地域のまちづくりの方向性(案)】

- 自然や歴史文化資源を活かした良好な住環境の形成
 - ・自然環境や歴史文化資源の保全(四国八十八ヶ所、八倉比賣神社等)
 - ・自然環境や歴史文化資源と調和した住環境
- 地域資源を活かしたにぎわいづくり
 - ・歴史文化資源の活用(四国八十八ヶ所等)
 - ・豊かな自然環境の保全
 - ・水辺を活かした親水空間の整備
 - ・地域資源を活用した交流拠点の整備
- 歩いて暮らせるまちづくりの推進
 - ・駅中心の歩いて暮らせるまち
 - ・安全で便利な生活道路の整備(南環状線、国道192号線等)
- 浸水リスクの軽減、防災まちづくり
 - ・河川改修等の浸水対策
 - ・避難体制の強化などによる逃げ遅れの防止
- 協働による地域コミュニティ活動の活性化
 - ・地域住民の交流促進

1 地域のまちづくりの方向性(案)に対する追加、修正等の意見

- ・「自然や歴史文化資源を活かした良好な住環境の形成」
 - 【追加】①鮎喰川への親川性、親水性の改善 ②内水河川、用排水路の整備、下水(浄化槽)整備
 - ③良好な居住環境の農住市街地の創出 ・無秩序な市街化、宅地化の抑制 ・コンパクトシティ
 - ④伝統文化(祭、催事、衣食、産業、自治会)の保存と継承
- ・「歩いて暮らせるまちづくりの推進」
 - 【追加】① JR 駅周辺地区の地区計画等による面的整備の推進
 - ・JR 駅やバス停などの交通結節点の整備
 - ・アクセス道路、北口改札の整備
 - ②安全で便利な道路網の構築
 - ・幹線:一般国道192号、南環状道路、都決街路、県道等の南北幹線
 - ・歩行者道:通学、散歩道、歴史文化道のネットワーク化
 - ③モビリティマネジメントやTDM等による安全、安心の街へ再生
- ・「浸水リスクの軽減、防災まちづくり」
 - 【追加】①鮎喰川の河床掘削、護岸補強、立竹木伐採、景観整備・保全
 - ②内水河川、用排水路の整備 ③住宅密集地区(狭あい道路)の改善
- ・「協働による地域コミュニティ活動の活性化」
 - 【追加】①新旧住民の交流で新たな地域コミュニティの創出と国府文化を醸成する。
 - ②市民参加や市民による地に足のついた継続的なまちづくり
- ・「歴史、文化、神社仏閣、町並みを誇れる町」 散策道路、ウォーキングコースマップ作成
- ・商業施設の充実(生活に必要な多目的な店舗の誘致)
- ・土地利用の規制→計画的で秩序ある土地利用の促進
- ・方向性としては正しいと思いますが、この計画に向かっての(目的)段階的で具体的な目標の検討がされているのかわからない

2 地域のまちづくりを進めるための役割（協働のまちづくり）に対する意見

役割 分担	市民	—
	事業者	—
	行政	課題の改善に市で連携をとりあい対応していただきたい
役割 分担	市民	—
	事業者	—
	行政	国県へ要望を出して幹線道路（都市計画道路）を1本でも早く着工してほしい
役割 分担	市民	ボランティア活動の推進
	事業者	—
	行政	—
役割 分担	市民	—
	事業者	—
	行政	是非とも道の駅延命を復活させて、周辺の魅力や資源を活かして地域を活性化させてい た だ き た い
役割 分担	市民	まちづくり関係者の連携 まちづくりやコミュニティへの意識を高める、率先垂範
	事業者	まちづくり活動への参画(支援、協力、参加、主体化)、人的ならびに金銭的負担 商工会や農協等の既存団体が活動を行う、または支援
	行政	市民参加による都市マス実現の為の具体施策の実践とそのための仕組み創設 まちづくり人材の育成、関係者、NPO等の連携づくり 街路、交通結節点、下水(河川)、緑地などの基盤インフラ整備 土地利用を誘導する適正な法規制、許認可
役割 分担	市民	実際に住んで生活している立場から、行政などから見えない課題について問題提起する
	事業者	市民の声も拾い上げ、それぞれの立場でできることに着手する
	行政	たえず市民の声に耳を傾け、お役所仕事ではなく、地域のために機動的に動く

3 その他、意見

<ul style="list-style-type: none"> • 健康、福祉の充実 • 産業、経済の振興 • 行政、事業者による農産物の外国への展開 • ケーブルテレビを活用した市内外への情報発信、地域のPR活動、行政によるPR活動への支援 • 大御和神社の祭り文化の継承 • JR府中駅に北口を設けると便利 • 現行都市マスをはじめ、各種のマスタープラン等が、地域や地区の実装、実施されない事例が少なくない。マスタープラン作成と併せて、実現化の方策、事業化、事業評価、地区市民参加などの仕組みを構築していただきたい。そして、10年後の当計画の見直し時には、計画目的・目標の多くが達成され、本地区が良好なコミュニティとインフラが整備されていることを期待する 	<ul style="list-style-type: none"> • 高齢者の増加による問題（買い物）障害者雇用支援 • 後継者、人手不足による農業生産力の低下 • 農業の活性化、農復連携、地産地消の推進
---	---

(2) 不動地区

【地域のまちづくりの方向性(案)】

- 田園環境を活かしたゆとりある定住環境の維持
 - ・ 農業的土地利用の保全
 - ・ 水と緑の地域景観の保全、創出
 - ・ 空き家、空き地の有効活用（高齢者の居場所づくりや地域交流の場等としての活用）
- 地域資源を活かしたにぎわいづくり
 - ・ 歴史文化資源の活用
 - ・ 水辺を活かした交流空間形成
 - ・ 農業を活かした交流活動
- 浸水リスクの軽減
 - ・ 河川改修等の浸水対策
 - ・ 避難体制の強化などによる逃げ遅れの防止
- 若い世代の地域活動への参加促進
 - ・ 子育て世代が参加したくなる仕組みづくり
 - ・ 地区外の若い世代との交流
- 良好な地域環境の維持
 - ・ ゴミのポイ捨て、不法投棄の防止
 - ・ 美化清掃活動の推進

1 地域のまちづくりの方向性(案)に対する追加、修正等の意見

- ・ 「良好な地域環境の維持」に追加・・・防犯運動の推進、交通安全の推進

2 地域のまちづくりを進めるための役割(協働のまちづくり)に対する意見

役割	市民	—
分担	事業者	—
	行政	—

3 その他、意見

- ・ 地域で少人数で話し合える唯一の場である公民館・分館を活用するように行政指導を願いたい（逆方向に進んでいる?）

(3) 北井上地区

【地域のまちづくりの方向性(案)】

- 田園環境を活かしたゆとりある定住環境の維持
 - ・ 農業的土地利用の保全
 - ・ 水と緑の地域景観の保全、創出
 - ・ 空き家、空き地の有効活用（高齢者の居場所づくりや地域交流の場等としての活用）
 - ・ 子育てしやすい環境づくり
- 協働による地域コミュニティ活動の活性化
 - ・ 若者と高齢者が交流、連携する仕組みづくり
 - ・ ゴミのポイ捨て、不法投棄の防止
- 地域資源を活かしたにぎわいづくり
 - ・ 歴史文化資源の活用
 - ・ 農業を活かした交流活動
- 安全安心なまちの実現
 - ・ 街灯が多く安全なまちづくり
 - ・ 安全で便利な生活道路の整備

1 地域のまちづくりの方向性（案）に対する追加、修正等の意見

なし

2 地域のまちづくりを進めるための役割（協働のまちづくり）に対する意見

役割	市民	—
分担	事業者	—
	行政	—

3 その他、意見

なし

(4) 南井上地区

【地域のまちづくりの方向性(案)】

- 田園環境を活かしたゆとりある定住環境の維持
 - ・ 農地の保全、継承
 - ・ 緑豊かな地域景観の保全、創出
 - ・ 空き家、空き地の有効活用（高齢者の居場所づくりや地域交流の場等としての活用）
- 地域資源を活かしたにぎわいづくり
 - ・ 歴史文化資源の活用
 - ・ 農業を活かした交流活動
- 協働による地域コミュニティ活動の活性化
 - ・ 若者と高齢者が交流、連携する仕組みづくり
- 安全安心なまちの実現
 - ・ 安全で便利な生活道路の整備
 - ・ 河川改修等の浸水対策

1 地域のまちづくりの方向性（案）に対する追加、修正等の意見

なし

2 地域のまちづくりを進めるための役割（協働のまちづくり）に対する意見

役割 分担	市民	—
	事業者	危険箇所の整備・点検
	行政	
役割 分担	市民	内容項目により自然に分けられるとおもう
	事業者	
	行政	

3 その他、意見

なし

【B 国府・不動・北井上・南井上地域】のキャッチフレーズ等について

【現行プランの将来像】地域の歴史や文化、癒しを育むまちづくり

【説明】魅力的な都市近郊の田園地帯として、無秩序な市街化を防止し、豊かな田園環境の保全・形成を進めるとともに、阿波史跡公園や四国八十八か所の札所をはじめとする寺社群等の歴史的資源を活かした癒しを与えることができる個性的な地域を目指します。

【将来像等に対する意見】

地区名	将来像及び説明で使用しているキーワード等に対する意見	
国府	残したい	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史・文化、自然を活かしたまち ・地域の歴史や文化 ・歴史的資源を活かした
	入れたい	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が暮らし、活躍できるまち・高齢者も活動、活躍できるまち ・新旧が入り交じり、新たな地域コミュニティと多様な国府文化を醸成する ・国府は阿波の「まほろば」 ・田園都市 ・歩いて暮らせる街 ・豊かな自然や田園環境
	変えた方がよい	<ul style="list-style-type: none"> ・「都市近郊の田園地帯」・・・左記の言葉が、相応しいかどうか疑問。都市近郊とは徳島市中心市街地(内町新町等旧市街地)の近郊のことを指していると思われるが、中心市街地が機能低下により、むしろ、本地域は、どちらかと言えば、衛星都市よりも、農・住を中心としたコンパクトな『田園都市』としての性格を押し出すべきと考える ・「無秩序な市街化を防止し、豊かな田園環境の保全・形成を」・・・これまで無秩序な市街化を防止できていない、また適正な土地利用を誘導出来ていない、豊かな田園環境の保全・形成のための施策や実績が見当たらない。今期の都市マスで、土地利用規制や環境保全等を重点として取り上げ、実施するなら(する覚悟なら)、残しても良いが、そうでないなら、一般論、計画論にしかならない ・「癒し」・・・都市マスタープランの地域イメージで「癒やし」は、マイナス志向を感じるため、相応しくない。癒しを育む、癒しを与えるとの表現は、歴史や寺社のイメージには近似するが、創造的ではない。将来の都市ビジョンとしてのワクワク感がない。例えば新たな文化を創造する、醸成するが好ましい ・「個性的な」・・・どのように個性的な地域なのか分からない。癒しは個性的であるとすれば、上記の事由で好ましいと思わない ・無秩序→無計画
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングが楽しめる最適な地域 ・歴史、文化・自然の郷 ～住んでよい 人が集うまち～ ・道の駅「延命」復活 ・現行の都市マスをはじめ、各種のマスタープラン等が、地域や地区に実装、実施されない事例が少なくない。マスタープラン作成と併せて、実現化の方策、事業化、事業評価、地区市民参加制度などの仕組みを構築していただきたい。そして、10年後の当計画の見直し時には、計画目的・目標の多くが達成され、本地区が良好なコミュニティとインフラが整備されていることを期待する ・「歴史や文化・自然の郷」歴史や自然を生かし、住んでいる人、訪れる人が交流し、多くの人が集う魅力ある町づくり ・「生き生きと暮らせる町」老若男女を問わず、日々の暮らしの中で、若者や高齢者が活動、活躍できる町づくり ・「人が健康・人が集う 福祉の町」地域内外から多くの人を福祉(障害者)等が集まり、それぞれの個性を生かし、共に町づくりを目指す必要がある。「つばがり」「和」「絆」を深める

不動	残したい	—
	入れたい	<ul style="list-style-type: none"> 魅力的な、豊かな、個性的な →市民全員が目指せるように行政支援が必要
	変えた方がよい	—
	その他	<ul style="list-style-type: none"> いいキャッチフレーズだと思う
北井上	残したい	—
	入れたい	—
	変えた方がよい	—
	その他	—
南井上	残したい	<ul style="list-style-type: none"> 「豊かな」→田園環境 →歴史的資源 この地域を表現するには大変適切な言葉だと思うので 人情味豊かな住みよい地域南井上 国府町の歴史関係（史跡、札所）
	入れたい	—
	変えた方がよい	—
	その他	—

C 入田・上八万地域

(1) 入田地区

【地域のまちづくりの方向性(案)】

- 田園環境を活かしたゆとりある定住環境の維持
 - ・ 水と緑の地域景観の保全、創出
 - ・ 子育てしやすい環境づくり
- 地域資源を活かしたにぎわいづくり
 - ・ 歴史文化資源の活用
 - ・ 豊かな自然を活かした交流活動
 - ・ スポーツ施設を活用したにぎわい拠点づくり
- 農業の振興と新たな産業による地域の活性化
 - ・ 就農支援の促進
 - ・ 耕作放棄地の活用
 - ・ 企業誘致、サテライトオフィスの設置
- 安全安心なまちの実現
 - ・ 犯罪のないまち
 - ・ 安全で便利な生活道路の整備
 - ・ 避難体制の強化などによる逃げ遅れの防止
 - ・ 鳥獣被害対策の強化
- 協働による地域コミュニティ活動の活性化
 - ・ 多世代が参加する地域コミュニティへの支援
 - ・ 隣接地域との交流促進

1 地域のまちづくりの方向性(案)に対する追加、修正等の意見

- ・ 「山地を活かした防災住宅移転促進」 住宅団地の用地取得、造成 を追加
- ・ 「田園環境を活かしたゆとりある定住環境の維持」の項目に、「住みやすい、行きやすい、逃げやすいまちづくり」を追加
- ・ 「道路拡幅整備」を追加
- ・ 「教育の盛んなまち・スポーツの盛んなまち」
- ・ 子育てしやすい環境づくり・・・幼稚園設置→認定子ども園設置
- ・ 鳥獣被害対策の強化・・・猟友会の積極的な活用

2 地域のまちづくりを進めるための役割（協働のまちづくり）に対する意見

役割 分担	市民	地域行事への積極的参加、協調 祭典や神楽の消滅、町内会組織の衰退、地域社会の存続のための危機意識の共有
	事業者	従業員を含む地域行事への理解と協力と参加 地域の清掃等ボランティア活動の積極的な貢献 人事による可能な限りの子育て家庭の配属 企業による農業事業への参入
	行政	市街化調整区域の見直し 法人の事務所設置への緩和 石井町へのアクセス道路の実現への積極的な推進と実行 ITの拠点作り 保育所等幼児施設の充実整備
役割 分担	市民	参加と協力
	事業者	各種協議会の連携
	行政	制度の運用（幅をもたす）、予算措置
役割 分担	市民	協働でお互いの信頼関係を構築しながらまちづくりを進めていく
	事業者	—
	行政	周辺地域にも、まちづくりの方向性なり、要望が色々ある。中心市街地の活性化ばかりで、地方は切り捨てられている現状で疲弊している。こういう計画に対して、周辺地域にも予算化し実行計画を立てる
役割 分担	市民	事業への積極的な参画（無関心層の増加）
	事業者	地域の担い手（人材）の育成
	行政	固定観念を払拭し、改革・改善を積極的に進める

3 その他、意見

- ・春の大楠や春日神社跡
- ・地域コミュニティの活性化、コミュニティの希薄化
- ・子ども教育支援（こども園設置）、幼少中の一体化（一貫化）
- ・インフラ整備がされていない

(2) 上八万地区

【地域のまちづくりの方向性(案)】

- 田園環境を活かしたゆとりある定住環境の維持
 - ・ 農業的土地利用の保全
 - ・ 水と緑の地域景観の保全、創出
 - ・ 空き家、空き地の有効活用（高齢者の居場所づくりや地域交流の場等としての活用）
- 地域資源を活かしたにぎわいづくり
 - ・ 歴史文化資源の活用
 - ・ 農業を活かした交流活動
- 若い世代の地域活動への参加促進
 - ・ 若い世代が参加したくなる仕組みづくり
 - ・ 地区外の若い世代との交流
- 良好な地域環境の維持
 - ・ ゴミのポイ捨て、不法投棄の防止
 - ・ 美化清掃活動の推進
 - ・ 地域資源の維持管理の仕組みづくり

1 地域のまちづくりの方向性(案)に対する追加、修正等の意見

--

2 地域のまちづくりを進めるための役割(協働のまちづくり)に対する意見

役割 分担	市民	三者が果たすべき役割を具体化、明確化し、実践につなげていくことが大切。評価についても（三者が）プラン作成の機会と同様に集まって評価できるとよい また、実現化には選択と集中が大切！今年度、あるいは〇年計画で選択・集中して取り組む目標を定めることで効果があがるのでは？ 一度に何もかもできない！
	事業者	
	行政	
役割 分担	市民	各個人のボランティア精神の育成
	事業者	—
	行政	可能な限り提出意見の現実化
役割 分担	市民	行政からの指導等があれば地域全体で協力する
	事業者	—
	行政	県との協議も必要なこともあるので早く十分協議してほしい たくさんの意見がありますが、1つでも早急に完了していただきたい

3 その他、意見

- ・ プランを作成することで出来た気になりがち。プランが「絵に描いたもち」にならないように、具体的な実現化の道の筋を示し、また定期的に達成度をチェック評価し、更に実現にむけて取り組めるような仕組みが大切
- ・ コミセンが避難所の機能を果たせない場合があるので、第2の避難所を設定してはどうか
- ・ 現存資源の有効利用！！
- ・ 入田の球技場で試合があるたび、渋滞になる。解消のために、20年以上前に、裏道に道路ができる話があったが、まだその時は稲作が盛んで反対が多く話は進展しなかった。今は農業する人も少なく、できれば再び道路ができる方向に話を進めてほしい
- ・ しらさぎ台団地の街路樹は、防災上、安全通行上、早急に対応が必要
- ・ 地区内の放送設備の設置が必要

【C 入田・上八万地域】のキャッチフレーズ等について

【現行プランの将来像】緑の里と歴史が息づくまちづくり

【説明】豊かな自然環境や農村環境を保全するとともに、徳島南環状線の整備効果等を活かし、一宮神社などの歴史文化資源や周辺地域の大規模公園等と連携した交流・レクリエーションが活発に行われる地域を目指します。

【将来像等に対する意見】

地区名	将来像及び説明で使用しているキーワード等に対する意見	
入田	残したい	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史文化資源
	入れたい	<ul style="list-style-type: none"> ・心も自然も豊かな入田町 ・自然豊かで活気を生み出すまちづくり ・自然豊かで魅力あるまちづくり ・豊かな自然や文化に活気を生み出すまちづくり ・みどり豊かで防災に強い、持続性の高いまちづくり ・地域における風格と魅力ある景観まちづくりに支援をすすめます。 ・徳島市のベッドタウン化の位置づけ
	変えた方がよい	<ul style="list-style-type: none"> ・植木の里、入田町 ・いつまでも「緑の里と歴史が息づくまちづくり」のみでは何も発展性もない ・徳島南環状線の整備効果
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・当地キャラクター「クスくん」の周知と活用 ・中心市街地が主体で周辺地域はおざなりに見受けられる ・説明文について「周辺地域の～公園等、交流、レクリエーション」などの言葉はいらぬ。もっと地域を支援するような言葉が欲しい
上八万	残したい	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然環境や農村環境を保全する ・空家対策・防災対策
	入れたい	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のつながりを大切にできる環境づくり ・若者が住みやすい町づくり
	変えた方がよい	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスの積極的な活用 ・上八万音頭のPR
	その他	—

D 多家良地域

【地域のまちづくりの方向性(案)】

- 子どもから高齢者まで暮らしやすいまちづくり
 - ・子育てしやすい環境づくり
 - ・地域で子どもを育てるまち
 - ・高齢者が安心できるまちづくり
- 田園環境を活かしたゆとりある定住環境の維持
 - ・農業的土地利用の保全
 - ・空き家、空き地の有効活用（高齢者の居場所づくりや地域交流の場等としての活用）
 - ・水と緑の地域景観の保全、創出
- 地域資源を活かしたにぎわいづくり
 - ・歴史文化資源の活用
 - ・自然を活かしたアウトドアスポーツの里
 - ・農業を活かした交流活動
- 安全安心なまちの実現
 - ・高齢者に優しいインフラ
 - ・環境対策の推進
 - ・交通環境の整備

1 地域のまちづくりの方向性(案)に対する追加、修正等の意見

- ・「だれでも住みやすいまちづくり」小さい地区内に精神科が2ヶ所もあるので、認知症や障がいについての理解の普及啓発にご協力いただく
- ・「地区内で可能な限り自給自足（スーパー、商店など）できるまちづくり」
- ・「認知症のある人が働ける、活躍できるまち」 八多分校の活用により、認知症や障害のある方達がつどい働く場としての活用ができる。生きがいにつながる

2 地域のまちづくりを進めるための役割（協働のまちづくり）に対する意見

役割 分担	市民	地域のコミュニティを維持する活動。自発的な助け合いや市民活動などを行う役割
	事業者	個々の事業者の持つ情報を地域に発信する。地域との協力関係をもつ役割
	行政	市民活動と市政がともにまちづくりを行う役割
役割 分担	市民	ひとりひとりが現状に対する問題意識を持って支え合う
	事業者	その地域で働く人として、地域活性化に一役
	行政	広報、いろいろな公共施設の使用許可等
役割 分担	市民	環境美化（ゴミ減量、みつけたゴミはすぐ拾う）や農業美化（農薬の抑制）に努める
	事業者	住民の生命、安全を守る事業を推進する
	行政	保育所を合併したこども園ではなく、歩いて行けるわが町の保育所を永久存続させ、学童保育所を作り地域の子育てをサポートする。そうすることで、若者も根付く
役割 分担	市民	参加意識の向上
	事業者	情報公開
	行政	情報公開
役割 分担	市民	多くの人の積極的参加、提案
	事業者	提案の検討、行政への要望
	行政	市民からの要望の検討、実現
役割 分担	市民	—
	事業者	—
	行政	八多分校の開放

3 その他、意見

<ul style="list-style-type: none"> ・地域に公園を作らなくても、豊かな自然のもと、のびのびと安心して遊べる今の環境を大切に維持していきたい ・文化財が荒れている（青蓮院）。危険であり、とても見苦しい。早急に善処してほしい ・多家良地区の先人たちは、地域にお金が入るということで迷惑施設を受け入れてきた。八多には、精神科病院、丈六には精神科病院と廃棄物処理施設 2 か所、飯谷は廃棄物処理施設 2 か所、渋野は処理施設ができる話を断って進入を防いでいる。多家良町はこうした話を受け入れずに来ている。地域の自然文化を守り伝えながら、住みよい町として転入者を迎え入れることができる街にしたいと願う ・農地を宅地化して転入者が増えればよいと思うが、居住場所と農地とは計画的に区分けした方がいい。中津峰へのトレッカーのために駐車場とトイレのある公園、気軽に自然を散策できる整備ができればと思う ・若い世代の意見を取り入れることができたら良いと思う
--

【D 多家良地域】のキャッチフレーズ等について

【現行プランの将来像】豊かな自然に囲まれた緑と清流の里づくり

【説明】農山村集落における生活環境の維持・向上を図るとともに、豊かな自然や歴史文化資源、田園環境等を活かした都市部との交流促進など、都市部にはない魅力ある資源を活かした地域を目指します。

【将来像等に対する意見】

地区名	将来像及び説明で使用しているキーワード等に対する意見	
多家良	残したい	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然 ・歴史と文化が香る緑と清流の里づくり ・環境・安全の維持 ・豊かな自然 ・徳島の軽井沢
	入れたい	<ul style="list-style-type: none"> ・人々がふれあう、支え合う 里づくり ・きれいな水・空気 ・住みよい町作り
	変えた方がよい	<ul style="list-style-type: none"> ・里づくり→里山づくり ・徳島の軽井沢
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・宝（多家良）の山を掘り起こそう ・説明文中、「都市部」ではわかりにくいので「他の地域」にしてはどうか

E 昭和・津田地域

(1) 昭和地区

【地域のまちづくりの方向性(案)】

- 生活利便性の充実とまちなか居住の推進
 - ・商業機能の充実
 - ・子育てしやすい環境づくり
- 災害に強いまちづくり
 - ・河川改修等の浸水対策（津波、浸水リスクの軽減）
 - ・避難体制の強化などによる逃げ遅れの防止
 - ・避難場所の整備
 - ・ケンチョピアの係留船の整理
- 歩いて暮らせるまちづくりの推進
 - ・安全で便利な生活道路の整備
- 地域資源を活かしたにぎわいづくり
 - ・水辺の景観保全
 - ・水辺を活かした交流空間の形成
- 若い世代の地域活動への参加促進
 - ・子育て世代が参加したくなる仕組みづくり
 - ・地区外の若い世代との交流
- 協働による地域コミュニティ活動の活性化
 - ・住民間の交流の促進
 - ・地域住民による安全安心なまちづくり

1 地域のまちづくりの方向性（案）に対する追加、修正等の意見

なし

2 地域のまちづくりを進めるための役割（協働のまちづくり）に対する意見

役割 分担	市民	実現に向けて協力する事だ！
	事業者	何をするにはまずは予算確保
	行政	予算を計画、実行する手順を示す事
役割 分担	市民	避難行動に対する考え方の徹底
	事業者	—
	行政	勝浦川流域全体で考えて欲しい
役割 分担	市民	各々共、地域自治や活動に対する協力意識の醸成・高揚などを図らなければならない
	事業者	
	行政	
役割 分担	市民	町内の各団体の世話人の高齢化が進み、若い世代が参加しない。例えば町内に住む公務員等に参加するような方法は無いだろうか？
	事業者	町内の事業については協力（寄付等）は多いと思う
	行政	行政サービス等が低下してきていると思う。特に防災に対してもっと行政がすべき事があると思う。自主防災が大切なのはわかるが、防災無線とかは早急に設置するべきと思う

3 その他、意見

<ul style="list-style-type: none"> ・勝浦川上流にて有水田畑をなくすため堤防が作られている。このため南昭和町七丁目付近の護岸では大雨、台風のと看危険であり、住人を守れない ・地域コミュニティの形成（課題） <ul style="list-style-type: none"> ・自治組織(町内会)の組織率(加入率)の低下。転入者の加入がほとんど無い。特にマンション入居者 ・若者の参加がほとんど無い→人材の掘り起こしが困難 <ul style="list-style-type: none"> →人材不足（各団体とも後継者に悩み多発） ・案にもられた現状認識に集約されている ・「絵に書いた餅」にならないように

(2) 津田地区

【地域のまちづくりの方向性(案)】

- 生活利便性の充実と自然環境を活かした快適な定住環境の維持
 - ・水と緑の地域景観の保全、創出
 - ・子育てしやすい環境づくり（子育て施設や身近な公園の充実）
 - ・空き家、空き地の有効活用
 - ・狭い道の拡幅
 - ・木材団地にゴミステーション
 - ・公共下水道の整備、終末処理場の設置
- 災害に強いまちづくり
 - ・河川改修等の浸水対策（津波・浸水リスクの軽減）
 - ・防災公園の整備や避難所への動線の整備
 - ・自助、共助による避難体制の強化などによる逃げ遅れの防止
- 地域資源を活かした地域づくり
 - ・海、川、山などの自然環境の活用
- 協働による地域コミュニティ活動の活性化
 - ・まちづくり活動団体と住民の連携
 - ・美化清掃活動の推進

1 地域のまちづくりの方向性(案)に対する追加、修正等の意見

- ・インターチェンジ、公園、運動場を活かした生活交流、観光交流の推進
- ・「協働による地域コミュニティ活動の活性化」
 - 地域防災力を高めるための五者による防災連絡会を定期的を開催する
(避難体制の強化や見直し、避難所開設運営のための連絡会。①徳島市初動要員 ②津田新浜地区自主防災会連絡協議会 ③津田小学校 ④津田中学校 ⑤津田コミュニティ協議会)

2 地域のまちづくりを進めるための役割（協働のまちづくり）に対する意見

役割 分担	市民	地域住民と事業者が話し合える場を作り、町全体が良くなるようすべきである
	事業者	地域住民と接触をもち、物心両面で地域に協力していただく
	行政	住民と事業者と話し合う接着剤のような役割をして欲しい 道が狭いので、道を広げるための都市計画をしていただき、予算を付けて欲しい
役割 分担	市民	住民同士のコミュニケーション。ゴミのないまちづくり
	事業者	環境保全
	行政	災害に強いまちづくり。公共下水道整備
役割 分担	市民	町内会活動の活性化
	事業者	事業者と町内会との連帯できる体制の構築
	行政	—
役割 分担	市民	地域の各団体の行事・事業を住民に幅広く広報し、興味・理解・協力・参加を得る
	事業者	地域の各団体の行事・事業に積極的に参加協力する。地域の宣伝に一役買ってもらう
	行政	住民の要望を積極的に形にし実現すること (例：下水道の整備、終末処理場の設置、狭道の拡幅、避難所への動線の整備など) 地域の広報活動に物資・金銭両面の支援を行う
役割 分担	市民	事業者・行政への協力。自らの問題として捉え、自らが問題を解決する意識の醸成 イベントへの積極的参加
	事業者	—
	行政	予算の確保。

3 その他、意見

<ul style="list-style-type: none"> 津田山は住宅地の真中に有り、開発し防災公園とすべきである 津田山に登山道を整備し頂上に展望台を設置 流れとして、地区のマスタープランの公表→進捗状況の地元報告説明→プランの達成結果及び課題点を次回の意見説明時に公表→新マスタープランに反映させること 津田小学校から津田山西避難所への避難通路の新設。同避難所を市が借地または買収して避難面積の拡大と整備。新浜地区にバレーボール程度の遊び広場と乳幼児及び高齢者が相談や憩い等が可能な多目的建物の新設。都市計画道路の排水路に蓋をして私有地として数か所で駐車場等として利用しているが違法ではないのか。調査し拡幅されたい。3か所の排水機場の早期整備。津田地区は東西方向の道路は行き止まり等で不便だけでなく避難時に支障があり、用地買収・補償を含めて整備できる制度を創設されたい 津田地区は公共下水道でなく合併浄化槽が普及しており、市はその推進を図っていると思うが、市の方針を地元説明で行うこと。少子化対策及び増加する高齢者対策として多目的施設を建設し、他地区の相談・指導施設を巡回できる職員の育成及び体制整備の構築。提案課題を深めるためには、旧マスタープランの概要資料を事前に配布し、その上で意見交換することにより問題点が明確になります。それが次のプラン作成が深まることになると考えられます。次回ワークショップの課題として考慮されたい
--

地区不明

E	役割	市民	自発的に地域の問題点、住民の要望等を行政に橋渡し解決にあたる
	分担	事業者	出来る限り地域の活動をバックアップし、地域活動出来る人材を育成する
		行政	各地区において公務員 OB など優秀な人材が多く眠っているので、自発的に地区の活動参加するように強く促すようにしてもらいたい

【E 昭和・津田地域】のキャッチフレーズ等について

【現行プランの将来像】快適な暮らしと産業活動が共存するまちづくり

【説明】四国横断自動車道や徳島東環状線等の整備により交通利便性の向上が見込まれます。また、高い人口密度に対応した安全で快適な住環境の整備が求められます。幹線道路沿いや臨海部には、商業や工業の集積が見られ、新町川・園瀬川などの都市河川や紀伊水道・津田山等の魅力ある自然資源を活かしたうるおいのある地域を目指します。

【将来像等に対する意見】

地区名	将来像及び説明で使用しているキーワード等に対する意見	
昭和	残したい	—
	入れたい	・「すみよい町」を入れて欲しい
	変えた方がよい	—
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・変更の必要性はなし ・市の職員の方でたたき台を作成。余りにも市民の意見ばかり求めて職員も一考していただきたい
津田	残したい	<ul style="list-style-type: none"> ・津田山、津田の歴史・文化財、お地藏さん、津田海岸公園 ・子育てにやさしいまちづくり ・快適なくらしができるまちづくり
	入れたい	<ul style="list-style-type: none"> ・出会い、ふれあい、助け合い ・快適な住環境と産業活動が共存するまちづくり
	変えた方がよい	<ul style="list-style-type: none"> ・「産業活動が共存する」は削除した方がよい ・高い人口密度→少子化や高齢化進展に対応した ・「幹線道路沿いや臨海部には、商業や工業の集積が<u>図られており、周辺環境整備なども考慮の上</u>」と修正 ・「<u>勝浦川・新町川・園瀬川や紀伊水道・津田山等の魅力ある自然資源を生かしつつ災害に強い地域をめざします。</u>」と修正
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・高速道路が開通し、海岸町に親水公園を作り、市民が集ったり、釣りができるようにしていただきたい ・公共下水道整備を入れていただきたい ・高速道路ができ便利となったが、南進工事が完成するまでの間は、津田の町は交通渋滞が発生すると思うので対策してほしい

(1) 渭北地区

【地域のまちづくりの方向性(案)】	
●安全安心な歩行環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 防犯カメラの設置 歩行を妨げる歩道橋の撤去 親水空間と合わせた歩きたくなる歩行環境の整備 狭い通りの拡幅整備
●地域資源を活かしたにぎわいづくり	<ul style="list-style-type: none"> 点在する歴史文化施設を歩きやすい歩行環境で繋ぎネットワーク化
●浸水リスクの軽減	<ul style="list-style-type: none"> 河川改修等の浸水対策 下水道の整備 避難体制の強化などによる逃げ遅れの防止
●協働による地域コミュニティ活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり活動団体、商店街の連携 地域コミュニティとマンション入居者の交流促進 児童館やコミュニティセンターの整備

方向性		地域資源を生かしたにぎわいづくり（興福寺、大岡川水路）
役割 分担	市民	地域の資源を見い出してほしい 住民の環境美化に努力する 地元を熟知した地元の人間が地元目線で都市計画を提案する 住民ボランティアの観光歴史案内
	事業者	地域で統一した名産物を開発（ケーキや和菓子など） 地域資源を見い出す機会を提供 観光をサポートしてくれる民間業者 大河ドラマ取り上げて
	行政	街路樹の定期的な整備と整備計画 官有地の有効利用 土地整理の行政的指導 歴史的看板の設置 遊歩道に土地を提供する。 縦割り行政の弊害をなくし国と県と市が協力して暮らしやすい徳島をつくる
方向性		安全安心な街づくり
役割 分担	市民	安全パトロール
	事業者	子供園来て欲しい
	行政	老朽化した歩道橋の撤去 こども園を認定してほしい
方向性		協働による地域コミュニティ活動の活性化
役割 分担	市民	コミュニティ活動に積極的に参加する
	事業者	学校も地域活動に加わってほしい 民間の時間外保育施設の増設
	行政	児童館、コミセン整備

(2) 渭東地区

【地域のまちづくりの方向性(案)】

●生活利便性の向上と居住環境の充実

- ・身近な商業機能の充実
- ・子育てしやすい環境づくり
- ・空き家、空き地の有効活用
- ・円滑な交通を促すための道路網の整備
- ・歩行者ネットワークの整備

●地域資源を活かしたにぎわいづくり

- ・歴史文化資源の活用

●水と緑を活かした交流空間の充実

- ・水辺を活かした親水空間の形成
- ・水辺のにぎわい拠点づくり
- ・水と緑、桜を活かした地域景観の保全、創出

●浸水リスクの軽減

- ・河川改修等の浸水対策
- ・避難体制の強化などによる逃げ遅れの防止

方向性		交流コミュニティづくり
役割 分担	市民	市民とのコミュニケーションをはかり、楽しいまちづくりを目指す 渭東めぐり（地域の歴史などが書いてある冊子）を発信 イベントの案内の仕方 小学校と交流（キラキラさくらロードなど） 地域交流の活発化 商店街と連携したイベント コミセン、学校等の催し物に参加 老若男女問わず「事業」に積極的に参加してもらう 町内会でチラシ配布（桜イベント）
	事業者	イベントの差し入れ イベントや冊子など掲示板に貼ってもらう 商店街イベントで割引券の発行 魅力ある事業を紹介してもらう（教育やイベント） 事業者の技術や得意分野を活かした学校施設への訪問
	行政	お金を出す イベントへの補助金増加 地域の文化などに対する補助（事業者の連携？） 座れる場所ない

(3) 沖洲地区

【地域のまちづくりの方向性(案)】

- 生活利便性の充実と居住環境の推進
 - ・身近な商業機能の充実
 - ・子育てしやすい環境づくり
 - ・子どもの遊び場となる公園の充実
 - ・安全安心な道路空間の整備
- 水と緑を活かしたにぎわいづくり
 - ・水辺を活かした交流空間の形成
 - ・水辺のにぎわい拠点づくり
- 地域資源を活かしたにぎわいづくり
 - ・マリニピアと周辺地域との連携強化
- 高速道路ネットワークを活かしたにぎわいづくり
 - ・中央卸売市場移転後の跡地の活用
 - ・交通ネットワークの要となるにぎわい拠点づくり

方向性	地域資源（マリニピアなど）を活かしたにぎわいづくり 高速ネットワークを活かしたにぎわいづくり	
役割 分担	市民	自然環境の維持 自主防災活動の強化
	事業者	自然環境維持、美化清掃 事業者としての防災力強化（夜間も含む）
	行政	公園整備 防災学習拠点の整備（ごみ焼却施設の整備と併せて） 高速から市中心地までのアクセス道の整備
方向性	生活利便性の充実と居住環境の推進	
役割 分担	市民	地域として「子ども図書館」の運用 町内会の組織拡充（人的絆の強化） 活動内容によっては、市民も参画（例：避難タワーと防災訓練）
	事業者	通勤、退勤に係るラッシュの改善
	行政	保育所や幼稚園の空き地（跡地）の活用 下水処理能力が十分にあるので幹線だけでなく支線にも下水道を伸ばす 身近な買い物サービス（行政支援が必要） 用水路および側溝の整備 県道整備の促進 県への要望

【F 渭北・渭東・沖洲地域】のキャッチフレーズ等について

【現行プランの将来像】水辺空間と広域幹線道路を活かしたまちづくり

【説明】四国横断自動車道や徳島東環状線等の広域幹線道路の整備効果を活かした業務系都市機能拠点の強化を図り、フェリー乗り場とも連携した徳島の新しい玄関口を目指します。また、多くの人口を有する地域であるため、生活基盤の整備を進めるとともに、教育施設や文化施設を備えた生活しやすい地域を目指します。

【将来像等に対する意見】

地区名	将来像及び説明で使用しているキーワード等に対する意見	
渭北	残したい	—
	入れたい	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史ロマンに溢れた水都 渭北 ・阿波の歴史を思い起こせる街 ・歩いて暮らせる街 遊歩道の拡充 ・弱者に優しい環境まちづくり ・蜂須賀氏の城下町と風格を感じる街 ・文教地区に適した街の景観
	変えた方がよい	—
	その他	—
渭東	残したい	<ul style="list-style-type: none"> ・水辺空間と地域の特色を活かしたまちづくり
	入れたい	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく地域交流の出来る町づくり ・地域住民の交流の深化と災害に強いまちづくり ・スーパーが6か所もあるぞ！渭東地区 ・小中高学校そろそろ渭東地区
	変えた方がよい	—
	その他	—
沖洲	残したい	<ul style="list-style-type: none"> ・だるま朝日と広域幹線を活かしたまちづくり
	入れたい	<ul style="list-style-type: none"> ・東京、九州からの観光玄関（四国東玄関）＋ 高速道路による関西へのアクセスの交差点 ・人と物が交流する徳島の玄関口・交通の結節点
	変えた方がよい	<ul style="list-style-type: none"> ・水辺空間→これは市全体の特性になってしまう ・「新しい玄関口」→インパクトにかける。だからまちづくりをどうするか。
	その他	—

G 佐古・加茂・加茂名地域

(1) 佐古地区

【地域のまちづくりの方向性(案)】

- 生活利便性の充実とまちなか居住の推進
 - ・身近な商業機能の充実
 - ・子育てしやすい環境づくり（認可保育園などの保育施設の充実）
 - ・円滑で安全な交通を促すための道路の整備
- 自然や歴史文化資源を活かした地域の魅力増進
 - ・諏訪神社、万年山史跡、佐古配水場等の文化
 - ・周辺の駐車場等の整備
- 地域環境を活かしたゆとりある定住環境の維持
 - ・水と緑の地域景観の保全、創出
 - ・空き家、空き地の有効活用（高齢者の居場所づくりや地域交流の場等としての活用）
- 防災まちづくりの推進
 - ・河川改修等の浸水対策
 - ・眉山の土砂災害対策
 - ・避難体制の強化などによる逃げ遅れの防止
- 協働による地域コミュニティ活動の活性化
 - ・子育て世代が参加したくなる仕組みづくり
 - ・多世代交流の促進
 - ・在留外国人等との交流の促進

1 地域のまちづくりの方向性(案)に対する追加、修正等の意見

- 1) 佐古地区の歴史と文化の町と未来へ向けて新しい町づくりをめざす
佐古地区は、眉山の麓にあり、古代・上代・中世・近世に渡り、歴史と文化のまちである。その魅力を継承するとともに、住民自らが地域を知り、学び、生活に生かしながら、佐古地区の文化を創出していく。それらを支える“場”の創出と情報ネットワークなど基盤整理を行うことで、生活と文化を向上させ、各地との交流をめざす（神社・仏閣・万年山など）
- 2) 住まいと暮らしを町づくりの中心にすえ、助け合い、支え合える町のしゅくみを築くことをめざす
良好な住居環境の整備とともに積極的に空き家対応、若手ファミリー層をはじめ高齢世代が健康で快適に暮らし続けることのできる環境づくりをめざす。特に、0～12歳児までの幼児・学童教育の環境づくりをめざす
- 3) 災害・犯罪・交通安全に強い安全で安心をめざすとともに住居地と眉山の自然を町の中心としたまちづくりをめざす
防災対策を計画的かつ総合的に実施する。犯罪者を寄せ付けない町や地域コミュニティを活かした防犯対策をすすめる。高齢者の安全運転・子どもたちへの安全教育などとともに交差点での安全を推進する
- 4) 生活拠点として、コミュニティセンターや医療施設はあるが、日常生活に必要な施設が立地するまちづくりをめざす
佐古駅周辺に大型商業施設(2カ所)開設され便利になったが、佐古西部地域の日常生活品の買い物難民対策を行政とともに解決をはかる。また、各地区に居場所づくりを推進する。住民のコミュニケーションをはかれる場所づくりをつくることにより住民の話し合いのできる町づくりを推進する

①老若男女がイキイキと助け合える町づくり
どの世代にも情報を受け取ってもらいやすく様々な方面(書面以外の SNS,LINE など)から情報発信をし、お得なイベント・交流会などを定期的に関ぎ、顔見知り・知り合いの輪を広げ、気軽に声を掛け合える町に
②未来を見据えた町づくり
未来を担う子ども・若年層の教育に力を入れるため、民間教育施設などとも相互に協力をはかり、学校では教えてくれないお金・社会・仕事・自身を高めるイベント・交流会を開催する。「子どもを育てるなら佐古！」というブランドを作り、若年層である子育て世代に魅力を感じてもらえる町に。10代の学生が共有できるワーキングスペースなどを作り、イベントや交流の生まれる町に
③歴史と文化の継承
歴史ある名所で、おやこ参加のイベントを行ったり、子どもの集まるオープンな場所にする。「小さい頃にここでよく遊んだなあ」と思い出してもらえる環境にし、地域愛を育む。イベントの中に歴史めぐり・クイズ・スタンプラリーなどを行い、楽しみながら歴史文化を知る工夫を
④日常生活の孤立予防
地域のコミュニティを作る。月1回のイベント(マイクロバスで買い物へ行く、お料理教室、手芸教室など)を実施し、近所同士の交流を増やし孤立を防ぐ。コミュニティ単位で、とくし丸まどの移動販売者を定期的に呼べるようにする
⑤災害・犯罪・交通の安全強化
自然災害の避難所の準備・情報をいろいろな角度から配信。日々、災害のための樹日・確認の配信をする。空き家を利用し、おやこの交流場所・ワーキングスペースなどを作り、人通りの多い場所を作る。地域別のコミュニティで災害・犯罪・交通の情報共有、意識づけなどで仕組み化する。何より地域・近所の交流が増えれば、強いつながりから様々な危険を予防することができる

2 地域のまちづくりを進めるための役割(協働のまちづくり)に対する意見

役割 分担	市民	まちづくりに関する地域の意見の取りまとめ (課題の発見、解決策の提案→提言、課題の解決)
	事業者	NPO・企業の参画及び提案
	行政	地域の課題、意見等に対する解決に対応。(人、物、金、情報)と相談、指導など
役割 分担	市民	自分の住む地域の魅力を知り、課題を把握する為、自ら積極的に地域行事に参加することが大切
	事業者	地域全体のニーズを把握する為のマーケティング調査が必要ではないか
	行政	市民、事業者が行動を起こしやすいようなコーディネート役を果たしていただきたい
役割 分担	市民	一人一人に何ができて、さらにそれらを活かす過程において相互に支え合う。地域活動へ参加する
	事業者	「福祉ビジョン2020」にかかっているような、例えば社会福祉協議会が地域の関係者をつなぐ。色々な団体があるのに宝の持ち腐れ
	行政	市民や事業者の意見をすばやく取り入れ柔軟に対応しなければならない
役割 分担	市民	行政との協力、情報、意見交換
	事業者	行政、市民との相互協力
	行政	安心・安全・情報発信(コロナ対策、自然災害に対する対策、脱炭素化の取組、少子高齢化の取組、IT関連、病院、銀行などに対するウイルス対応指導、市民への情報提供)

3 その他、意見

- コミュニティの重要性:コロナ禍での休校による学童保育施設の人手不足にコミセンから協力→子ども(小学生)との交流。しかし、周りがそれを知らない→情報発信の重要性
- 佐古ボランティア運営協議会:万年山の清掃活動などにボランティアで参加時に、ボランティア証明書を発行→進学や就職、社会活動などで有利に
- 何かを仕掛けていかないと世代間交流はない
- 商売のまち(ニッチな産業・商店が多い。ゲタ・奴凧・花嫁お菓子・神輿・提灯・金物・藍染めなど)
- 日曜市の開催(清水寺)…これらを調べて、まとめて情報発信したい
- 歴史資源の保全:自然や建築物だけでなく、旧街道の街並み・歴史街道・景観
- 佐古地区は、インフラ整備は既に出来上がっている。住みやすいまち
- 空き家の活用:学生が興味を示している。コワーキングスペースとして活用したい
リノベーションし若者が好む空間に。子育て世代のためのスペースに
- 市で「コミュニティ条例」や「コミュニティ税」
- 高齢化により年々町内会が減っており、町内会の魅力がないのも1つの原因である。例えば町内会・婦人会などが行うボランティア活動、防災、脱炭素化などの講習に参加してくれた人にポイントをカードに押し、貯めれば商品券に交換する。その商品券は協力してくれるスーパー(業者)を使うことで双方が良しとなる。財源としては、町内会、業者だけでなく行政も何らかの形でフォローできないか?
- 脱炭素に向けて、一般家庭の出すゴミ袋を有料にすればどうか。出るゴミも少なくなるし、意識も変わる。その財源を使って各環境保全の組織に少し出せばよい

(2) 加茂地区

【地域のまちづくりの方向性(案)】

- 田園環境を活かしたゆとりある定住環境の維持
 - ・ 水と緑の地域景観の保全、創出
 - ・ 子育てしやすい環境づくり(子育て施設や身近な公園の充実)
 - ・ 空き家、空き地の有効活用(高齢者の居場所づくりや地域交流の場等としての活用)
- 協働による地域コミュニティ活動の活性化
 - ・ 若者と高齢者が交流、連携する仕組みづくり
- 地域資源を活かしたにぎわいづくり
 - ・ 学校と連携した地域の活性化
 - ・ 既存施設を活用したイベント(産直市等)によるにぎわいづくり

1 地域のまちづくりの方向性(案)に対する追加、修正等の意見

- ・ 学園都市(高校4校、県立中学校1校、県立夜間中学校1校あり)

2 地域のまちづくりを進めるための役割(協働のまちづくり)に対する意見

役割	市民	—
分担	事業者	—
	行政	空き家・空き地の有効活用

3 その他、意見

- ・ 地域における狭い道路の拡張(5m以上)
- ・ 近所付き合いがあまりない。地区の活性化を図ることが一番大切だと考えているが、良い案が浮かばない
- ・ とくしまマラソンのコース沿いの弁天橋(潜水橋)より吉野川南岸に蜂須賀桜を植樹する。南岸に沿って公園を作ってほしい
- ・ 意見・提案:なし。良くまとまっている。佐古駅、徳島駅にも近く、車両を使っての交通の便利もよく、また、城ノ内・城北・工業および中央高校など高校が4校ある文教地区で、かつ「秋・夏の祭り」、「全町運動会」、「文化祭」、「福祉餅つき」スポーツや文化活動が盛んである。強いて言えば、城北・工業および中央高校の生徒のことも考慮し「コミセン」の前に駅がほしい

(3) 加茂名地区

【地域のまちづくりの方向性(案)】

- 田園環境を活かしたゆとりある定住環境の維持
 - ・ 水と緑の地域景観の保全、創出
 - ・ 空き家、空き地の有効活用（高齢者の居場所づくりや地域交流の場等としての活用）
- 地域資源を活かしたにぎわいづくり
 - ・ 歴史文化資源の活用
 - ・ 豊かな自然を活用したにぎわい拠点づくり
- 道路交通環境が整備された安全安心なまち
 - ・ 交通渋滞の解消
 - ・ 歩きやすく広い生活道路の整備
- 協働による地域コミュニティ活動の活性化
 - ・ 若者と高齢者が交流、連携する仕組みづくり
 - ・ 周辺地域との交流、連携による協力体制の構築

1 地域のまちづくりの方向性（案）に対する追加、修正等の意見

- ・ 鮎喰川河川敷利用オートキャンプ場の設置
- ・ 縦貫道に接続した山の駅の設置

2 地域のまちづくりを進めるための役割（協働のまちづくり）に対する意見

役割	市民	事業等の要望・設備等の維持管理
分担	事業者	事業に対する指導監督・設備等の維持管理の補助
	行政	要望者の意見集約・施設の建設・補助金の交付

3 その他、意見

- ・ 生活道の無電柱化
- ・ 蔵本地区（南蔵本を除く）では、蔵本地域活性化推進協議会が、防犯カメラを23箇所に設置して、地域の防犯・安全に努めている
- ・ 加茂名地区が発展していくためには、人々が集まる施設、つまり暮らしやすい社会環境を構築する必要がある。加茂名南小学校周辺には、看護学校、城西高校、県自治研修センターがある。この周辺に図書館に併設した公園を新たに建設し教養特区としたい。また、西部公園を健康スポーツ特区として遠足に来てもらえる施設を野外音楽堂も併設する。蔵本地区に医療健康施設を研究施設等の医療特区ができれば人が寄ってくると思慮する

【G 佐古・加茂・加茂名地域】のキャッチフレーズ等について

【現行プランの将来像】眉山と川に囲まれた、歴史や健康を育むまちづくり

【説明】眉山、鮎喰川等の豊かな自然環境や、眉山山麓を中心に分布する万年山蜂須賀家墓所や寺社などの歴史的資源、旧街道の街並み、また、徳島大学病院や県立中央病院の立地や大規模公園等を活かしつつ、都心への近接性や公共交通の利便性を備えた、歴史や健康を育む便利で生活しやすい地域を目指します。

【将来像等に対する意見】

地区名	将来像及び説明で使用しているキーワード等に対する意見	
佐古	残したい	—
	入れたい	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代育成、共育ち（ともそだち）、地元愛、地域愛、（3地域合わせて）文教地区、学びの場、人を育む、旧街道の街並み・歴史街道・景観 ・地域共生 ・住み良い町
	変えた方がよい	・「歴史や健康を育む…」→「歴史を大切にし健康を育む…」検討をお願いします。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史・文化と住みやすい環境を活かしたまちづくり ・すべてが共存する、未来のための優しいまちづくり
加茂	残したい	・支えあい、学びあえる学園の町、加茂
	入れたい	<ul style="list-style-type: none"> ・緑と田園 ・豊かな緑や残された田園 ・教育や文化
	変えた方がよい	—
	その他	—
加茂名	残したい	—
	入れたい	—
	変えた方がよい	—
	その他	—

(1) 内町地区

【地域のまちづくりの方向性(案)】	
●鉄道の高架化を見据えた駅周辺のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・眉山～徳島駅～徳島中央公園のシンボル軸形成 ・(鉄道で分断された) 南北の市街地の一体化 ・広域的な商業機能の充実 ・商店街の活性化
●生活利便性の充実とまちなか居住の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な商業機能の充実 ・子育てしやすい環境づくり(子育て施設や身近な公園の充実)
●水と緑を活かしたまちなか観光、交流空間の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ひょうたん島の歩行空間のネットワーク化 ・ひょうたん島と地域内の集客拠点のネットワーク化 ・ひょうたん島のにぎわい拠点づくり ・徳島中央公園の集客機能の充実
●新ホールを核としたにぎわいづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・アクセス手段の充実
●協働による地域コミュニティ活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり活動団体と商店街の連携 ・地域コミュニティとマンション入居者の交流、連携

方向性		JR 高架化駅周辺のまちづくり
役割	市民	買い物は内町で
分担	事業者	徳島駅→城山まで駅から延長の遊歩道などの協力 まともた広い土地がないためアミコビルに、イズミヤ、イオン、キョーエイ、マルナカなどの商業施設を誘致する 商業者も努力が必要
	行政	市民、事業者にできないインフラ整備(JR 徳島駅～城山～新ホールまでの遊歩道整備) 行政間の連携 阿波踊りを活性化 橋のLED ライトアップに伴い、街中が暗い。特に橋の上を明るくしてほしい
方向性		新ホールを核としたにぎわいづくり
役割	市民	地域住民の意識の一本化
	分担	徳島 JAZZ ストリートを活かして音楽祭 学生達のマーチングバンドで街を行進
分担	事業者	既存の駐車場を活用 歩道 県内で活動しているアーティスト(芸術系)が定期的に中心地で活動したり、作品発表する場を作る 文理大学、四国大学、徳島大学のキャンパスを町中に そごう跡に有名大学の分校を誘致(学生の街)
	行政	場の提供(公共空間の活用)

(2) 新町地区

【地域のまちづくりの方向性(案)】

- 中心部活性化によるにぎわいのあるまち
 - ・既存の商店街の活性化
 - ・周辺住民も来街者も楽しめるにぎわいのある商店街づくり
 - ・若者が住みたくなる、来たくなるまちづくり
- 生活利便性の充実とまちなか居住の推進
 - ・マンション等のまちなか居住の誘導
 - ・子育てしやすい環境づくり（子育て施設や教育環境の充実）
- 水と緑、歴史を活かしたまちなか観光、交流空間の充実
 - ・水辺の歩行者空間のネットワーク化
 - ・眉山の環境保全、充実（ロープウェイ、大滝山）
 - ・水辺や地域内の集客拠点のネットワーク化
 - ・阿波おどりを中心としたにぎわいづくり

方向性		中心部活性によるにぎわいのあるまち
役割 分担	市民	街の美化（NPO だけではなく） 積極的に街に参加する 地元事業者の横のつながり
	事業者	テナント出店の為のオーナーに対しての家賃交渉 新町西再開発マンション 1～2F 診療所、保育所の設置 イベントの運営、マルシェ、マーケット、更に別のやり方 地域住民の生活をささえる店舗 核となる店 新町に来ているお客様へのあいさつ運動 眉山から阿波踊り（会館から商店街への突入） 定期的なイベント（例）高知の朝市、
	行政	天神社・大滝山の遊歩道の整備 歩行者利便増進道路の認定 駐車場の補助（新規 オープン補助） 紺屋町のバスターミナルの設置 新規出店補助金 既存店補助金（条件付） 民間任せにしない行政のリーダーシップ 眉山ロープウェイの延伸 テナントオーナーへの家賃補助（下げたいけど固定資産税が高い） 地下駐車場の料金補助 中心市街地に住んでいる人への家賃補助、期間限定（新婚） 古い建物耐震対策補助（調査費も高いため） 疲弊した商店街の活性化（古いアーケードの撤去）

(3) 東富田地区

【地域のまちづくりの方向性(案)】

●生活利便性の充実とまちなか居住の推進

- ・歩行環境の整備
- ・子育てしやすい環境づくり
- ・身近な商業機能の充実
- ・空き家、空き地対策の推進

●鉄道の高架化

- ・鉄道により分断された市街地の一体化

●地域資源を活かしたにぎわいづくり

- ・歴史文化資源の活用
- ・水辺を活かした交流空間の形成

●協働による地域コミュニティ活動の活性化

- ・住民間のコミュニケーションの充実

●安全安心なまちの実現

- ・災害時に協力体制があるまち
- ・消防団員の増加

方向性		生活利便性の充実とまちなか居住の推進
役割 分担	市民	徒歩・自転車移動の推進 歩きやすい町なので、それを活かす 土地・家の売却 幅広い年齢で集会を行う
	事業者	空き家の活用 アドプト
	行政	歩道橋の拡幅、街路樹の撤去を含めた歩道空間問題 電柱の地中化 エリア内での起業支援 空き家撤去に要する費用への補助 空き家リノベーション補助 排水問題（雨水処理能力） 高齢者用施設の充実（かなり手狭）

4) 西富田地区

【地域のまちづくりの方向性(案)】

●生活利便性の充実とまちなか居住の推進

- ・身近な商業機能の充実
- ・子育てしやすく、若者が住みやすい環境づくり（子育て施設や身近な公園の充実）
- ・高齢者に優しいインフラ、交通環境の整備
- ・空き家、空き地の有効活用（多世代交流の場等としての活用）

・まちなか居住の誘導

●地域資源を活用したにぎわいづくり

- ・歴史文化資源の活用
- ・眉山を活かした地域の活性化（アウトドア施設等）

●協働による地域コミュニティ活動の活性化

- ・若者と高齢者が交流、連携する仕組みづくり

方向性		地域資源を活かしたにぎわいづくり（歴史・眉山の自然）
役割 分担	市民	地域ボランティア活動（行政の要請に応じて） 各種団体でモラエスに関する研修会を開催 地域に活動に積極的に取り組んでいく 地域の歴史勉強会 観光ボランティアの養成
	事業者	徳島市内をめぐる観光案内的なバスの運行 桜花見さじきの復活 観光資源をアピールの材料にする
	行政	観光資源を事業者に提供 モラエス記念館の創設 地域町名等の掲示板の設置（歴史の町） 眉山山頂公園の整備、拡充（楽しめる広場） 眉山山麓の井戸の復活 眉山中腹のそうじ（葉っぱ） 天神社から眉山山頂への登山道の整備 眉山登山道の整備・PR 江戸時代、戦前の地図の表示板作成、現在との対比 阿波踊りロード おどり1コマを遊歩道に順に設置。一通り踊れるように
方向性		生活利便性の充実とまちなか居住の推進
役割 分担	市民	子どもの見守りを積極的に行いたい 市民ひとりひとりのアイデアを出し合い、地域をあげて取り組む場づくり ひとり暮らし高齢者の見守り活動を強化・充実する（民生委員+α） 空き家コーディネーターの育成
	事業者	狭い道路の電柱整理 中型の商業施設を誘致する
	行政	眉山病院から神武天皇像までの道路整備（樹木）、遊歩道 空き家提供を促す行政支援「あなたも町中に住んでみませんか」 高齢者の通りやすい道路整備

【H 内町・新町・東富田・西富田地域】のキャッチフレーズ等について

【現行プランの将来像】水と緑に囲まれ、人が行き交う都心のまちづくり

【説明】多くの文化施設や教育・医療・商業施設、企業が立地し、高次な都市機能が集積しています。この機能を維持・更新し、県都の顔として、多くの人を引きつける魅力ある地域を目指します。また、土地の高度利用や眉山山麓周辺など良好な住環境の保全を図るとともに、まちなか居住を促進します。

【将来像等に対する意見】

地区名	将来像及び説明で使用しているキーワード等に対する意見	
内町	残したい	<ul style="list-style-type: none"> ・人が行き交う ・水と緑に囲まれたコンパクトシティ、スマートシティ
	入れたい	<ul style="list-style-type: none"> ・人のつながり ・コンパクトシティ ・コンパクトスマートシティ ・コンパクトシティ、歩行者天国 ・音楽が流れるおどりと音楽 ・音、水、花、コンパクトシティ、スマートシティ ・阿波、とくしま ・水辺を活かした歩行者天国 ・「人のつながり」 ・あたたかい ・スマートシティ ・コンパクト&スマートシティ ・かなでる、ひびく ・水辺を活かす
	変えた方がよい	—
	その他	—
新町	残したい	—
	入れたい	<ul style="list-style-type: none"> ・「住みたいな まちなかに！！」って思われる為のまちづくり ・人と人が寄り添い笑顔たくさんの方に！！ ・住みやすさ ・安心
	変えた方がよい	—
	その他	—
東富田	残したい	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなか居住の推進
	入れたい	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、子ども、多様な世代が住みやすいまち ・安全・安心なまち
	変えた方がよい	—
	その他	—
西富田	残したい	—
	入れたい	<ul style="list-style-type: none"> ・温かい歴史の町で支え合う思いやりのまちづくり ・静かな町 西富田 ・眉山山麓歴史と人情の町づくり ・世代を超えて故郷を誇れるまちづくり ・眉山の景観と歴史文化の変わる西富田のまちづくり ・水と眉山に囲まれ、人が行き交う歴史の街並都心のまちづくり ・眉山山頂および神道の整備 ・歴史の町西富田（歴史を活かした観光施設、商業施設の誘致） ・眉山を望み・・・住宅地、商業地、歓楽街が集積する・・・ ・人が行き交う歴史ある都心の・・・
	変えた方がよい	—
	その他	—

I 八万・勝占地域

(1) 八万地区

【地域のまちづくりの方向性(案)】

- 豊かな自然環境を活かした快適な定住環境の維持
 - ・水と緑の地域景観の保全、創出
 - ・環境に配慮したエコステーションの設置
 - ・子育てしやすい環境づくり
- 歩いて暮らせるまちづくりの推進
 - ・歩いて暮らせるコンパクトなまちづくり
 - ・子どもや高齢者も安全に歩ける道づくり
- 安全安心なまちの実現
 - ・老朽化した空き家対策の推進
 - ・安全で便利な生活道路の整備
- 協働による地域コミュニティ活動の活性化
 - ・若い世代や新しい住民が参加したくなる仕組みづくり
 - ・祭り等の地域活動の支援

1 地域のまちづくりの方向性(案)に対する追加、修正等の意見

なし

2 地域のまちづくりを進めるための役割(協働のまちづくり)に対する意見

役割 分担	市民	常に課題解決のため、自分にできることを積極的に取り組む
	事業者	町の発展のためできることを
	行政	町民の意見をまとめ実行していく
役割 分担	市民	自分の住んでいる街を良くしようと思う意識の向上
	事業者	事業者の利益と街の利益、住民の利益が結びつくような事業案
	行政	実行力

3 その他、意見

- ・冷田川(県が管理する冷田橋上下流)の整備。県市協調で水際公園を実現してほしい
- ・急激な流入人口増により戦前の地域社会が消滅した。新しいコミュニケーションが作られていない。地域社会の形成に行政が手を出していない。社会教育行政の不活発がある。鉄道高架の早期実現に、県市JR全力を挙げてほしい
- ・手軽に借りられる屋内用スポーツセンターを希望!

(2) 勝占地区

【地域のまちづくりの方向性(案)】

- 田園環境を活かしたゆとりある定住環境の維持
 - ・水と緑の地域景観の保全、創出
 - ・子育てしやすい環境づくり
 - ・空き家、空き地の有効活用(高齢者の居場所づくりや地域交流の場等としての活用)
- 地域資源を活かしたにぎわいづくり
 - ・歴史文化資源や自然が多い環境の活用(護国神社、弁天山、大神子海岸等)
- 浸水リスクの軽減、防災まちづくり
 - ・河川改修等の浸水対策(土手の補強、打樋川の排水)
 - ・避難体制の強化などによる逃げ遅れの防止
- 良好な地域環境の維持
 - ・ゴミのポイ捨て、不法投棄の防止
 - ・美化清掃活動の推進
- 協働による地域コミュニティ活動の活性化
 - ・若い世代が参加したくなる仕組みづくり
 - ・世代を問わず憩える場所づくり

1 地域のまちづくりの方向性(案)に対する追加、修正等の意見

- ・防災や公民館事業を強化しコミュニティを活性化する施策

2 地域のまちづくりを進めるための役割(協働のまちづくり)に対する意見

役割 分担	市民	—
	事業者	—
	行政	市街化調整区域内の宅地開発の厳格化
役割 分担	市民	ゴミのポイ捨てや不法投棄は個人のモラルやマナーの問題
	事業者	高齢者の居場所づくりや地域交流の場を提供
	行政	防災や浸水対策
役割 分担	市民	—
	事業者	—
	行政	プラン策定後、10年間の実施計画を示し、どの部分が具現化、実現されたのか市民(地区住民)に公表(説明)すること
役割 分担	市民	さまざまな意見やアイデアを行政に届ける。自分が主体になり、地域を良くすると意識する
	事業者	職種により地域に貢献できることを提案し、行政と協力する
	行政	地域のリーダーを数多く多分野で育て、住民の意見や要望をすい上げ具体化する

3 その他、意見

- ・河口に近い地区は土地が低く、津波や大雨による河川氾濫が心配
- ・JR牟岐線の高架化はどの部分で行われるのか。すでに高架化された文化の森手前のことか?
- ・「人」が主体という考え方をに入れてほしい

【Ⅰ 八万・勝占地域】のキャッチフレーズ等について

【現行プランの将来像】水と緑と文化が息づくまちづくり

【説明】徳島県文化の森総合公園や徳島市総合動植物公園などの県市を代表する大規模な公共施設や自然環境を活かし、多くの市民や観光客が訪れる地域、また、JR 牟岐線の高架化を契機として都市基盤が整備・充実した便利で暮らしやすい地域を目指します。

【将来像等に対する意見】

地区名	将来像及び説明で使用しているキーワード等に対する意見	
八万	残したい	<ul style="list-style-type: none"> ・文化の森総合公園や徳島市総合動植物公園など ・公共施設や自然環境を活かし ・県市を代表する大規模な公共施設や自然環境を活かし、多くの市民や観光客が訪れる地域
	入れたい	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが安全安心して 心豊かに暮らすことができる地域 ・安全・安心なまち
	変えた方がよい	<ul style="list-style-type: none"> ・「JR 牟岐線の高架化を」（無理なのは） ・「JR 牟岐線の高架化を契機として」
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージ通りで良い ・現状でよい
勝占	残したい	<ul style="list-style-type: none"> ・水と緑
	入れたい	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティが作り出す安全安心が息づく地域。人にやさしく、住民が主役になれる環境整備を実施し、暮らしやすい地域を目指します
	変えた方がよい	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客 ・JR 牟岐線の高架化については計画があるのか？ いつまでに実現するのか？ 詳細がわからない。この地域に関係するのか？
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・キャッチフレーズ、いいと思う。勝占地区は自然が豊富なので“水と緑”は残していただきたい ・人が育つと地域が育つ。人を育てる行政を！

令和4年1月28日

徳島市都市計画マスタープラン策定に向けた
市民ワークショップ（地域別意見交換会） 参加者 様

徳島市企画政策部都市計画課長

徳島市都市計画マスタープラン策定に向けた市民ワークショップ
（地域別意見交換会）第2回の対面開催中止及び意見募集について（通知）

初春の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃は、本市の行政運営に対し、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、市民ワークショップ（地域別意見交換会）の開催に際しては「徳島市コミュニティセンター施設における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に基づき、安全な運営体制の確保に努めておりました。

現在、全国で新型コロナウイルス感染症の第6波が本格化し、本市においても感染が急拡大している中、安全・安心な開催が困難であると判断し、事前に日時をお知らせしておりました市民ワークショップ（地域別意見交換会）第2回の対面での開催を中止させていただくこととなりました。

しかしながら、第1回での皆さんからのご意見を集約し、新たな都市計画マスタープランの策定に向けた「地域のまちづくりの方向性（案）」として整理しましたので、第2回市民ワークショップは、書面にて報告するとともに、裏面の記入要領のとおり、皆さんからご意見を頂戴したく存じます（書面開催）。

なお、勝手ではございますが、ご意見の返送期限は令和4年2月14日（月）とさせていただきます。お手数ではございますが、ご意見の有無にかかわらず、同封の返信用封筒（切手不要）によりご返送ください。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

送付資料

- 1 徳島市都市計画マスタープラン策定に向けた市民ワークショップ（地域別意見交換会） 第2回
- 2 各地区の意見をまとめた地図（2～3枚）
- 3 各地区におけるまちづくりの方向性（案）
- 4 各地域の現行都市計画マスタープラン キャッチフレーズ（イメージ）
- 5 意見募集シート

以上

<事務局連絡先>

〒770-8571 徳島市幸町2丁目5番地

徳島市 企画政策部 都市計画課（担当：清水、齋田）

TEL：621-5493 FAX：623-1008

メールアドレス：toshi_keikaku@city-tokushima.i-tokushima.jp

1 徳島市都市計画マスタープラン策定に向けた市民ワークショップ (地域別意見交換会) 第2回

第2回市民ワークショップ(対面開催)で使用・配布する予定だった説明資料です。

2 各地区の意見をまとめた地図(2~3枚)

第1回の市民ワークショップでの皆さんからのご意見を地図に清書したものです。同じ内容のご意見については、一つのコメントに集約しています。

- ・地域の魅力・資源・・・・・・・・青色のコメント
 - ・地域に起こっている変化や課題・・・・赤色のコメント
 - ・住みたいまちのイメージ・・・・・・・・緑色のコメント
- } 1枚もしくは2枚の地図
1枚の地図



抜け落ちている又は誤っていると思うコメント、追加したいと思うコメントはありませんか。
ご意見があれば、意見募集シートにご記入ください。

3 各地区におけるまちづくりの方向性(案)

上記の地図上のコメントを、内容の似たグループごとにまとめ、そこから導き出される「地域のまちづくりの方向性(案)」(右側の黄色の枠)として整理しています。



黄色の枠に書かれた「地域のまちづくりの方向性(案)」(主に●の太字部分)について、抜け落ちている又は誤っていると思う方向性、追加したいと思う方向性はありませんか。
ご意見があれば、意見募集シートにご記入ください。

また、「地域のまちづくりの方向性(案)」を実現するために、①市民 ②事業者(民間企業やNPO法人、各種協議会など) ③行政は、それぞれどのような役割分担が望ましいと思いますか。
ご意見があれば、意見募集シートにご記入ください。

4 各地域のキャッチフレーズ(イメージ)

資料の上半分には、現行の都市計画マスタープランに掲げている各地域のキャッチフレーズ(イメージ)を記載しています。



このキャッチフレーズは、あなたの地区を含む複数の行政地区でのキャッチフレーズです。

あなたの地区のキャッチフレーズとして、残したいキーワード、入れたいキーワード、変えた方がよいキーワードはありませんか。
ご意見があれば、意見募集シートにご記入ください。

ご意見の有無にかかわらず、意見募集シートのみ、同封の返信用封筒(切手不要)で
令和4年2月14日(月)までにご返送いただきますようお願いいたします。

意見募集シート

A: 地区

※ 通知の裏面【記入要領】をお読みいただき、ご意見・ご提案があればご記入ください。

ご意見の有無にかかわらず、意見募集シートは、同封の返信用封筒（切手不要）で
令和4年2月14日（月）までにご返送いただきますようお願いいたします。
なお、郵送料及び整理の都合上、返信用封筒に入れるのは、意見募集シートのみにしてください。

2 各地区の意見をまとめた地図 ご意見・ご提案等

・抜け落ちている又は誤っていると思うコメント、追加したいと思うコメント、その他のご意見

3 各地区におけるまちづくりの方向性（案） ご意見・ご提案等

・抜け落ちている又は誤っていると思う方向性、追加したいと思う方向性、その他のご意見

役割分担について

- ①市民の役割 →
- ②事業者の役割 →
- ③行政の役割 →

4 各地域のキャッチフレーズ ご意見・ご提案等

- ・残したいキーワード
- ・入れたいキーワード
- ・変えた方がよいキーワード
- ・その他

ご協力ありがとうございました。

徳島市都市計画マスタープラン策定に向けた
市民ワークショップ(地域別意見交換会)

第2回

【本日の流れ】

- 1 開会
 - 2 事前説明(ワークショップの進め方)
 - 3 ワークショップ
 - ① 第1回ワークショップの振り返り
 - ② 地域のまちづくりの方向性(案)
 - ③ 地域のまちづくりを進めるための役割(協働のまちづくり)
 - ④ キャッチフレーズ(イメージ)
 - ⑤ 各班の発表
 - ⑥ 他班の意見の閲覧
 - 4 あいさつ・全体総評
 - 5 閉会
- (目安90分)

本日のワークショップの進め方

3-① 第1回ワークショップの振り返り

⇒ファシリテータから説明

目安
5分

3-② 地域のまちづくりの方向性(案)

⇒ファシリテータから内容の説明後、意見交換

目安
25分

本日のワークショップの進め方

3-③ 地域のまちづくりを進めるための役割 (協働のまちづくり)

- ⇒ **赤色のカード**：市民の役割
青色のカード：事業者の役割
緑色のカード：行政の役割

目安
5分

※各自記入後、机上のシートに貼り付け
 (4ページのワークシートのイメージ図を参照)
 意見交換

(休憩：5分)

3

本日のワークショップの進め方

ワークシートのイメージ (机上に配置)

まちづくりの方向性	市民の役割	事業者の役割	行政の役割
○○○○○○	 <small>参加者が意見を 書き込み</small>		
○○○○○○			
○○○○○○			
○○○○○○			

4

本日のワークショップの進め方

3-④ キャッチフレーズ（イメージ）

⇒現在のまちづくりのキャッチフレーズを確認後、
加筆・修正について意見交換

- 残したいキーワード
- 入れたいキーワード
- 変えた方がよいキーワード など

目安
20分

現行プランキャッチフレーズ（イメージ）
○○○○○をいかにしたまちづくり
説明文
キャッチフレーズ（イメージ）の改定案

キャッチフレーズ（イメージ）
の改定案をみんなで作成
（キーワードのレベルでもよいです）

5

本日のワークショップの進め方

3-⑤ 各班の発表

⇒発表者の選出をお願いします

各班3分程度

3-⑥ 他班の意見の閲覧

⇒気に入った意見には
「イイねシール」を貼りましょう

5分



6

ワークショップのルール

- 1 話したいことは、なんでもカード（ふせん）に書きましょう！
- 2 意見をはっきり、わかりやすい言葉で、手短かに発言しましょう！
- 3 参加者相互の立場を尊重し、異なる意見にも耳を傾けましょう！
- 4 みんなで協力して進めていく気持ちを大切にしましょう！

7